



# 大野小だよい

「みんなでつくろう幸せな学校」

自ら進んで学ぶ子 自分を高める子 互いを認め合える子  
進んで健康な体をつくる子 すべての子どもが幸せを実感できる地域にする



令和7年7月5日 第9号

## 市川市消防局局員と…

『わ』をテーマに、最高学年として大野小を幸せな学校にするためにできることはいかないか、そのノウハウを学ぶべく、職業人の話を聞いています。第八弾は、「市川市消防局局員」。消防士になりたいと決めたのは中学生の時。おじいさまのご出棺の際にお見送りに来ていたたくさんの消防士さんの敬礼する姿に感銘を受け、おじいさまと同じ道を歩みたいと消防士を目指したとのこと。「将来の夢ややってみたいことなんて、どこで、どんな出会いやタイミングで見つけられるかわからない。」と消防士さん。確かに・・・。そう考えると、6年生のわくチャレで話をしてくださったたくさんの人との出会いが、大野っ子を支えてくださるたくさんの人の学びが、子どもたち一人一人の未来につながっていくかもしれません。



この消防局員の方、実は、アメリカンフットボールチーム「BLUE THUNDERS」のGMという役割も。ご自身もアメフトの有名なプレイヤーだったと。「チームとしては、勝てる時ばかりではない。それでも、あきらめずにチャレンジしていくことで、勝利を手にすることができる。だからこそ、あきらめないでチャレンジし続けてほしい。」と。あきらめずにチャレンジし続ける選手の姿を通して、地域を、市川市を元気にしていきたいとのこと。「大野小を幸せにしたい。」という6年生の思いにつながりそうです。人とのつながりを大切にして、あきらめないところに未来はあるのだと。BLUE THUNDERS 応援に行きます！

## 建築家

職業人の話、第九弾は建築家の方々。お客様と設計士だけでなく、それぞれの専門家や現場で実際にものを作る人たちがチームを組んで、考えたことを実現させていく、みんなでつくると良いものが完成するのだと、建築家の方々。確かに・・・。みんなで協力して取り組むと、予想以上の成果が出ること、そんな場面が学校にはたくさんあります。そのために必要となるのが、やはりコミュニケーション能力！講師のお二人は、年に2回、離島でワークショップを開催するのだそうです。世界中から集まる方々と、寝食を共にし、知恵を出し合い、建造物をリノベーションしていくのだと。『疑問や不満、やってみたいという気持ちを原動力に、想像したことを実現できるように頑張ってほしい！』と。一人では実現できないことも、誰かとならできるかもしれません。また、「唯一の正解なんてない。みんな違って、どれもいい！」とも。心強いお言葉でした。ありがとうございました。



職業人の話、最終回は、IT関連企業にお勤めで、様々な会社の仕事がスムーズにいくようなシステムを開発しているとのこと。「それぞれの会社に合わせてシステムを作っていくためには、常に相手の立場に立って考えていかないといけない。」と。Web会議では、様々な国の人も参加するのだと。『国が違えば考え方や習慣も変わるので、そこにも合わせていかないといけないよ。』と。確かに・・・。PTA会長の立場にある講師に、こんな質問が。「仕事で身につけたことで、PTA会長として生かせることは何ですか。」と。『一つ目は、リーダーシップが取れるようになったこと。仕事の会議でもリーダーシップをとる場面があるので、会長として保護者の意見をまとめていくときに役立つ。』「もう一つは、やはり、相手の立場に立って考えること。たくさんの家庭があり、それそれに考え方方が違うので、PTA会長としてそれらを大切にしていかないといけないからね。」と。社会で求められる力って、仕事でもボランティアとしての立場でも大きな違いがないのかもしれません。大野っ子一人一人の立場に立って、幸せにしていく方法を考えていくと謝辞を述べた6年生でした。

## IT 関連&…

# うどんこ病を治さねばあ～



もたち。さっそく支柱を。毎朝、登校すると野菜に水をやり、朝の支度が終わると成長の様子を写真に。「順調かと思いきや・・・、「先生、葉っぱの色が違う。」「枯れているのかな。」と子どもたち。調べてみると、『うどんこ病』という病気にかかっていることが判明！治療方法について調べ、希釈し酢力効くらしいと噴霧開始！「先生もよくわから

ないから、農家さんに聞いてみよう！教えてもらおう！！」ということに。



2年生は、生活科で夏野菜づくりに取り組んでいます。苗植えをして数日後、支柱を立てるなどを勧められた子ど

6年生のキャリア教育の講師として来校した農家さんとJAいちかわ営農指導員のお二人に、「教えて、教えて！」と猛烈アタック！！「鉢と鉢を離して風通しを良くしてね。」「病気が移らないようにするためにもあるよ。」「白くなった葉は切り取る。」「わき目も取っていかないとね。」「酢はいいね。続けていこうね。」とお二人。子どもたちはうどんこ病を治そうと必死です。これぞ、学ぶという姿なのでしょう。専門家のアドバイスを受けると、「水やりは



朝だけね。」「トマトはわき目を積むけど、キュウリは茎の成長を止めてわき目を増やしていくよ。」と新しい発見がいっぱい！アドバイス通りにお世話をしてみると、病気もなくなり、野菜が元気になって花をたくさん咲かせました。おいしそうな実もたくさんつけ始め、子どもたちは毎日ワクワクしています。せっかくなので、保護者の皆様と一緒に、夏休み中の野菜のお世話の仕方について、営農指導員の方に教えてもらいました。野菜をたくさん収穫して、ご家族の皆様で楽しんでいただけたらと思います。



## インターネットトラブル防止教室

3年生から6年生を対象に、市川市教育委員会の方



による「インターネットトラブル防止教室」が開催されました。まずは、インターネットの利点と欠点について。利点については、ゲームや調べ物ができる。欠点については、いじめ、個人情報の流出、事件に巻き込まれるなど・・・と、子どもたち。インターネットを介したトラブルについては、よくわかっているのだと感じました。しかし・・・、市川市の実態として、インターネットトラブルの被害者の7割弱が小中学生であること。そのうちの75%の子どもたちが、自分から先に投稿しているとの



こと。インターネットを介したトラブルについては熟知しているものの、自分ごととして考えられていないことがわかりました。

発達段階に合わせたメディアリテラシーを身につけられるよう、大人が繰り返し伝えていかなければならないと、私自身が学びました。

## フルーツパラダイス大野の贈り物

6月に始めた梅仕事。フルーツパ

ラダイス大野でとれた梅を使って、梅干しと梅ジュースを仕込みました。一ヶ月後…。

梅雨明けを思わせるような晴天が続くので、3日干しならず一日干しで。塩分も少なめで一日しか干していないので果肉も柔らかく、かなりフルーティーな極上の梅干しに仕上りました。教職員のごはんお供はもちろんのこと、お客様のお茶請けにもていきたいと思います。



梅ジュースも作りました。甘くてとてもおいしいです。炭酸水で割って飲むとサイコーです。

さらに・・・、梅ジュー



スに使った梅を甘露煮にしました。これが絶品！梅サイダーに入れても、そのまま食べてもおいしいです。クエン酸たっぷりで、夏バテ防止と疲労回復に効果あり！大野の教職員は夏バテ知らずで過ごすことができそうです。フルーツパラダイス大野の素敵なお土産、大切にいただきます。